

2024 年 11 月 13 日
日本船主協会 企画部広報室

海洋文化都市くれ海博 2024 に海事 PR ブースを出展
～クイズや VR を通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会や海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しております。

11 月 10 日(日)に、広島県呉市にて海洋文化都市くれ海博 2024 が開催されました。当協会はこの機会を捉え、広島県の呉地域の船主が中心となって組織する「喜望峰の会」メンバーと協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事 PR ブースを出展いたしましたので、その模様をお知らせします。

当日は「海の魅力を知る」「海で世界につながる」をテーマに、大和ミュージアム・大和波止場をメイン会場とする 3 会場で様々なイベントが開催され、当協会ブース近くでは水素を燃料とした世界初の双胴旅客船「ハイドロびんご」の体験乗船が行われるとともに、各種団体の PR ブース等も出展し、多くの来場者で賑わいました。

当協会の海事 PR ブースでは、海運にまつわるクイズや自動車船内の VR 映像見学を実施し、ご参加いただいた方には海運グッズを、X (旧 Twitter) や Instagram のアカウントをフォローいただいた方にはオリジナル海運ミニ袋をプレゼントしました。



海事 PR ブースの様子



自動車船を VR で見学



クイズに挑戦

当日は、大勢の方にブースにお立ち寄りいただき、150 組以上の方が VR やクイズにご参加いただきました。参加者からは、「貨物船を見る機会がないので、自動車船の中を見られて感動した」「海運が日本の貿易量の 99%以上を運んでいるなんて知らなかった」等の声が聞かれました。

また、大和波止場・野外大型テントで行われた「海洋・海事のお話、映像上映」コーナーでは、当協会海事人材部 木村友紀課長代理（商船三井 船長）より「船の役割と船で働く船員さんのお仕事」について講演が行われ、多くの親子連れの方々に海運の重要性を理解いただき、海や船に興味を持っていただきました。



木村船長ご挨拶の様子



大型テント 講演の様子



船長のお話に興味津々

当協会は、今後も会員会社や海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるよう努めてまいります。

以上